

以文社

新刊のご案内

12月12日(取次搬入)発売予定!

篠原 雅武 著

複数性のエコロジー

人間ならざるものの環境哲学

モダニティの終焉からエコロジカルな時代へ

地震、原発問題、無差別殺人、自殺……現在、われわれが感じるこの「生きづらさ」とはなんなのか? 「エコロジー」概念を刷新し世界的な注目を集める思想家ティモシー・モートンは、現代人の生きる空間そのものが「うつ空間」と化しているという。都市空間の「荒廃」を問い続け、ヴェネチア・ビエンナーレ日本館展示にもかかわるなど精力的な活動を続ける著者が、モートンと直接に対話しながら辿り着いた、自分への配慮と、ヒト・モノを含む他者との結びつきの環境哲学。……「人間が、人間だけで生きていることのできていた時代が終わろうとしている」。巻末には日本初公開となるティモシー・モートンのインタビューを収録。

篠原 雅武 (しのはら まさたけ)

1975年生まれ。社会哲学、思想史専攻。1999年京都大学総合人間学部卒業。2007年京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。博士(人間学・環境学)。2012年4月より、大阪大学大学院国際公共政策研究科特任准教授(2017年3月まで)。2015年4月より、京都大学人科学研究所非常勤講師。2016年開催のヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館制作委員。

著書:『公共空間の政治理論』(人文書院、2007年)

『空間のために』(以文社、2011年)

『全 生活論』(以文社、2012年)

『生きられたニュータウン 未来空間の哲学』(青土社、2015年)

訳書: M・デランダ『新たな社会の哲学』(人文書院、2015年)

【目次】

序章	第5章 死んでゆく世界と一緒にいること
第1章 アンビエント・エコロジーへ	第6章 内的空間へ
第2章 荒廃のエコロジー	終章
第3章 「もの」のエコロジー	注解
第4章 幕張ダークエコロジー	ティモシー・モートン・インタビュー2016

四六判 上製カバー装 320頁 本体価格:2,600円 (定価:2,808円)

希望陳列コーナー:現代思想・社会・都市論・建築

以文社 ISBN 978-4-7531-0335-5 C0010 本体価格:2,600円 (定価:2,808円)		
帳合・番線	ご希望冊数	書名
		複数性のエコロジー 人間ならざるものの環境哲学 篠原 雅武 著

※指定配本の都合上12月04日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。

101-0051 千代田区神田神保町2-12 FAX:03-6272-6538 TEL:03-6272-6536 <http://www.ibunsha.co.jp/>